

地域みんなでまちづくり会議活動報告書

地区名	第十小学校通学区域
開催日時	平成29年1月24日(火) 19時から20時30分まで
会場	第十小学校会議棟
参加者	市長の出席(有・ <input type="checkbox"/>) 市民10名、地域担当職員2名 合計12名(うち男性8名・女性4名)
(議題等)	
1 コミュニティ作りについて	
2 その他	
① 次回検討事項について	
② 次回の開催日について	
(結論(決定した方針、解決すべき課題、保留事項等))	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回は、地域で活動する各団体を招き、防災の観点から団体相互で連携できることについて検討することに決した。 	
<p><u>※ 後日調整が有り、目的の確認後改めてコミュニティ作りについて話し合うこととする。</u></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回開催日は平成29年4月18日又は25日とすることに決した。 	
(会議の内容)	
1 コミュニティ作りについて	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 十小地域は自治会加入率が特に低いため、コミュニティを作る必要性があることを、委員の共通認識としたい。 ・ 十小地域のまつりを立ち上げて、他団体との交流を深める。 ・ 地域の運動会を開催してはどうか。 ・ コミュニティの力で、地域の課題を解決していくことが理想である。 ・ 自治会あり方研究会の中では、自治会において人材が不足している。人材確保が必要であるとの意見がある。 ・ 十小地域にある保育園、学校、団体等の全体で、防災訓練を行ってはどうか。 ・ 十小地域でコミュニティを作る上のキーワードとしては、「まつり」、「運動会」、「防災訓練」が上げられた。コミュニティを作る上のテーマとしては絞る必要がある。 ・ 防災の観点から、どのようなコミュニティを作るのか検討が必要である。 ・ 全員で協議するには時間を有するので、2班に分かれ協議することも考えられる。 ・ 各団体は、それぞれで活動を行っている。そこにまつりを立ち上げ参加させるとなると、体力のある団体は参加できても、体力のない団体は負担になるだけである。また、まつりの開催までは連携を取ることとなるが、その連携は開催までである。開催後も、どのように連携を保っていくかが問題である。 ・ 前回の会議のように、この場に地域の団体が集まり、様々な意見交換を行っていくことが、コミュニティを作っていくうえで大切である。 ・ いろいろな団体から、課題を抽出し、検討を重ねていく中で、コミュニティが作られて 	

いくことも考えられる。
<ul style="list-style-type: none"> • 団体をどのように繋げるのが課題である。また、各団体の抱える課題について情報交換をおこなうことにより、課題解決に向け、互いに助け合うことができるのではないか。 • 次回は、地域で活動する各団体を招き、防災の観点から団体相互で連携できることについて検討することとしたい。
2 その他
① 次回検討事項について
地域で活動する各団体を招き、防災の観点から団体相互で連携できることについて検討することに決した。
※ 後日調整が有り、目的の確認後改めてコミュニティ作りについて話し合うこととする。
② 次回の開催日について
次回予定欄のとおり。
(その他)
<ul style="list-style-type: none"> • 自治会あり方研究会副座長の水野氏に、今回の会議から委員として参加いただいた。
(次回予定)
日 時 平成29年4月18日(火) 19時から
会 場 第十小学校会議棟
議 題 等 目的の確認と、コミュニティ作りについて